

# 〔議会事務局〕 経営計画書（総括表）

## ■事務事業の総括

No.	事務事業名	様式 区分	R2 度計画額（単位：千円）		R2 年度必要人工	
			計画額	内特定財源	職 員	臨時職員
1	議会運営事業	B	7,321	0	1.5	0
2	議会広報事業	B	2,025	0	0.5	0
合 計			9,346	0	2.0	0

## ■特記事項

# 事業別経営計画書【B】

## ■基礎情報

所属名	議会事務局	No.	1
事業名	議会運営事業		
総合計画の体系	基本目標	6	持続可能な地域経営
	基本政策	2	行財政経営
目的	議会の円滑な運営を図るため事務の効率化を目指す。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本会議、委員会、協議会の会議運営</li> <li>・会議録の作成</li> <li>・常任委員会の視察対応</li> <li>・特別委員会の事業推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページによる情報発信</li> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>	
現在における経過又は課題	<p><b>【会議運営】</b>          会議運営の効率化と事務の効率化を目的として、平成 30 年 12 月定例会よりタブレット等を利用したペーパーレス会議システム（以下、SideBooks）の運用を開始した。平成 31 年 4 月の議員改選を機に 5 月臨時会より本格運用とし、試行期間中に併用していた紙媒体の資料配布を取りやめた。          タブレット等機器の操作習熟度には個人差があるため、一定の水準まで引き上げられるかが課題である。          マイク等一部設備の更新は過去に行っているが、議場音響設備のほとんどは庁舎建設時からのもので構成されているため機器のトラブルが心配される。今後の庁舎の利用年数等を考慮し更新の可否を検討する必要がある。</p> <p><b>【ホームページ】</b>          議会活動をより多くの方に知ってもらう手段として、平成 26 年 9 月定例会から一般質問をインターネットによる生中継及び録画の配信を始めた。平成 28 年 12 月定例会からは録画配信のみとなっている。傍聴席から撮影しているため、質問者の表情が見えたほうがよいという声がある。          平成 29 年 6 月から会議録検索システムを導入し、平成 24 年 3 月の定例会から、定例会、臨時会、委員会の議事録をホームページ（外部サイト）から閲覧できるようにした。また、会議録完成後に配布していた冊子の数を削減した。</p>		
令和 2 年度の目標又は改善策	<p><b>【会議運営】</b>          引き続きスムーズな会議運営が行えるように努める。          本会議においてスピーカーに音声が出力されない現象が生じており、これは機器の経年劣化によるものと考えられているので、機器の更新について検討していく。</p> <p><b>【ホームページ】</b>          議決結果等を速やかに更新するとともに、議会活動に関する掲載内容の充実を図り、住民に対し、より多くの情報を発信する。</p>		

## ■作業工程（当該年度）

月	作業内容
5	臨時会
6	定例会
9	定例会
12	定例会
3	定例会
随時	※毎月、総務建設・文教福祉常任委員会協議会及び全員協議会を開催 会議録の作成及びホームページによる情報発信等  常任委員会視察は7月から11月までの間で実施予定（会期中は除く）

## □3年間の目標

項目（単位）	H29 計画	H29 実績	H30 計画	H31 目標	H32 目標	H33 目標
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> </ul>					

## □2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H32 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> </ul>
H33 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> </ul>

## ■事業コスト

		単位	H30 年度決算額	R1 年度当初予算額	R2 年度計画額
事業費		千円	6,038	8,053	7,321
(内特定財源)		千円	0	0	0
人工	職員	人工	1.2	1.2	1.2
	臨時職員	人工	0	0	0
	計	人工	1.2	1.2	1.2

## ■平成 31 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
合計		

## ■令和 2 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容

## ■特記事項

--

## ■目標又は改善策に対する取組内容

### 【会議運営】

議員からタブレット講習会の要望があったため、年度当初に講習会を実施する等、ペーパーレスによる会議での支障がないように努めた。

実際の会議において、第1委員会室にて委員会協議会を開催中にマイクが使用できなくなる事案が2件発生し、隣席のマイクを使用して対応した。この使用できなくなったマイクについては導入後20年近く経過し、また、製造が中止されてからも数年が経過していることから修理できなかったため、今後も同様の事例が発生する可能性があることを考慮し、補正予算（行政課対応）にて委員会室のマイク設備一式を交換した。

### 【ホームページ】

上程議案は会議当日、議決結果や一般質問の動画は2～3日以内に掲載するなど、新鮮な情報提供に努めた。

また、議会活動に関する掲載内容の充実では、一般質問の通告内容と併せて質問予定日の掲載、議会活動スケジュールに掲載する内容を増やすことでより多くの情報を発信し、議会の活動を知ってもらえるように努めた。

## ■評価

### 【会議運営】

委員会室での会議中にマイク設備のトラブルが発生したが、タブレットを使用したペーパーレス会議でのトラブルもなく、概ねスムーズな会議運営ができた。

議場の音響設備も導入からかなりの年数が経過しており、同様にマイク設備のトラブルが発生する懸念があるため、更新を検討する必要がある。

### 【ホームページ】

アンケート等により利用者の声を聞く機会がなく客観的な評価はできないが、従来よりは情報提供の内容及びスピードともに向上していると思われる。

# 事業別経営計画書【B】

## ■基礎情報

所属名	議会事務局	No.	2
事業名	議会広報事業		
総合計画の体系	基本目標	6	持続可能な地域経営
	基本政策	3	情報発信・共有
目的	<p>町政に係る重要な情報を議会独自の視点で住民に周知し、多様な広報手段で、より多くの住民が議会と町政に関心を持つように努めることを目的とする。</p>		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議会広報誌「おおぐち議会だより」の編集及び発行</li> <li>・議会広報に関する視察対応</li> <li>・</li> </ul>		
現在における経過又は課題	<p>「おおぐち議会だより」は、議会広報誌として年4回発行している。限られた紙面で、定例会や委員会等で審議した経過について、より住民に「読んでもらえる」「分かりやすい」紙面づくりが求められている。</p> <p>「高齢者に可読性が低い」と指摘（議会広報全国コンクール審査委員）のあったオレンジ系の配色を、207号からブルー系に見直した。</p> <p>議会広報常任委員会では、全国町村議会広報コンクールにて優秀な成績を収めた町村議会への視察のほか、雑誌編集等の専門家が講師を務めるクリニックにおいて指導を受け、より多くの住民に手に取って読んでもらえる広報誌づくりを目指している。現在、他自治体議会の取組み等を参考にしながら、委員と事務局の作業分担、紙面構成の見直し等の検討・実施を進めている。</p> <p>他自治体議会では、定例会の結果を報告するだけでなく、議員が住民を取材し、その声を掲載するなど、議会広報を通して議会と住民の距離を近づけるような工夫をしている事例がある。議会広報常任委員会で検討し、できるところから取り入れていく必要がある。</p>		
令和2年度の目標又は改善策	<p>「おおぐち議会だより」を通じて住民が議会に関心を持ってもらえるよう、「住民に読んでもらえる、分かりやすい紙面づくり」を目指し情報を発信する。</p> <p>引き続き、他自治体議会の視察や全国町村議会議長会等の研修を受講することで、議会の内容を分かりやすく伝える技術や編集技術を習得し、その成果を紙面づくりに生かす。</p>		

## ■作業工程（当該年度）

月	作業内容
5	224号発行（3月定例会）
7	225号発行（6月定例会）
10	226号発行（9月定例会）
1	227号発行（12月定例会）

## □3年間の目標

目標	.					
	.					
項目（単位）	H29計画	H29実績	H30計画	H31目標	H32目標	H33目標

## □2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H32年度	.
H33年度	.

## ■事業コスト

		単位	H30 年度決算額	R1 年度当初予算額	R2 年度計画額
事業費		千円	1,339	2,137	2,025
(内特定財源)		千円			
人工	職員	人工	0.5	0.5	0.5
	臨時職員	人工	0.0	0.0	0.0
	計	人工	0.5	0.5	0.5

## ■令和2年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
合計		

## ■令和2年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容

## ■特記事項

--



## ■ 目標又は改善策に対する取組内容

「おおぐち議会だより」を通じて住民が議会に関心を持ってもらえるよう、「住民に読んでもらえる、分かりやすい紙面づくり」を目指し情報を発信するために、記事の見出しをインパクトのあるものにする等の工夫をした。また、開始から10年以上経過した最終ページの「まちの元気者」については、新たに新企画を検討し、令和3年3月定例会分（第228号 令和3年4月発行）から、毎号2人の住民の方に登場して頂く「まちかどインタビュー」の連載を開始することになった。

令和2年度はコロナ禍の影響により先進地視察は中止した。研修会は、愛知県町村議会議長会主催のものに参加したほか、全国町村議会議長会主催のものについてはオンライン開催となったため、各委員に案内して各自で受講してもらうこととした。

## ■ 評価

新しい企画の連載が「おおぐち議会だより」を手にとってもらえるきっかけになるかは未知数であるが、マンネリ化した紙面のリニューアルで新たに手にとってもらえる人を増やすことにつながればと思っている。

現在は、客観的評価をする指標等が何もないので、ふれあいまつり等の機会を通じてアンケートを実施することで、住民が「議会だより」に何を求め、何が知りたいのか等、住民のニーズを知ることも必要であると思われる。